

令和6年度 津市立白山中学校 第1学年 技術科 シラバス

教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第1学年 技術

1 目標

- ・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。
- ・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができること。
- ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。

2 評価基準と評価の方法

知識・技能	定期テスト、学習プリント等における記述、製作活動で適切な作業を行っているか等の観察。
思考力・判断力・表現力	定期テスト、学習プリント等における論述や、製作活動における課題解決能力。
主体的に学習に取り組む態度	授業中における発言や行動の観察、授業のふりかえりにおける記述。

3 使用教材

- ・教科書 東京書籍「新しい技術・家庭（技術分野）未来を創る Technology」
- ・クリエイト6
- ・技術・家庭ノート技術分野

4 学習方法についてのアドバイス

○学校

- ・授業において、積極的に発言するなど、自らすすんで授業に参加するようにする。
- ・自らの説明で、他の人に理解できるように説明できるようにする。
- ・提出物は、決められた期日に、内容を全てこなし提出するようにする。

○家庭

- ・定期テスト対策として、自らの言葉などでしっかり説明できるようにする。
- ・重要語句などをしっかり押さえる。

5 年間学習指導計画

月	単元となる学習内容	観点別評価基準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス授業 ・材料が使われている目的 ・木材の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の特徴についての知識を身に着けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料が使われている目的を自分の言葉で説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・製作品を丈夫にする方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・ふり返り
6	<ul style="list-style-type: none"> ・製図（等角図、第三角法による正投影図） 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な図の描き方を理解している。 ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 ・期末テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・ふり返り
7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が作る作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで身に着け 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づいて、製 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子

	の構造を考える	た知識を基に、作品の構造を考える。	作の計画を立てることができる力を身に付けている。	・ふり返り
9	【工具の使い方】 ・さしがね ・両刃のこぎり ・かんな ・げんのう ・やすり	・工具の使い方を理解し、使えるようになる。	・工具を使う上での課題点の解決策などを考えることができる。	・授業の様子 ・ふり返り
10	・製作品の製作	・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。	・製作途中での課題点について、自ら吟味し、解決できている。	・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・授業の様子 ・ふり返り

11	・製作品の製作	・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 ・期末テスト	・製作途中での課題点について、自ら吟味し、解決できている。 ・期末テスト	・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・授業の様子 ・ふり返り
12	・製作品の評価	・今まで身につけた知識を基に、評価している。	・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。	・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・授業の様子 ・ふり返り
1	・ワード	・ワードの使い方について理解している。	・ワードの作品に自分なりの工夫ができている。	・授業の様子 ・ふり返り
2	・ワード	・ワードの使い方について理解している。 ・学年テスト	・ワードの作品に自分なりの工夫ができている。 ・学年末テスト	・授業の様子 ・ふり返り
3	・ワードのふり返り	・ワードの使い方について振り返ることができる。	・ワードのふり返りについて説明できる。	・授業の様子 ・ふり返り